

医療センターニュース

編集／三重県立総合医療センター広報紙編集委員会 <http://www.mie-gmc.jp/>
〒510-8561 四日市市大字日永5 450-132 TEL(059)345-2321(代表) E-mail:sogohos@mie-gmc.jp



当院屋上ヘリポートでの訓練の様相

平成30年9月27日、海上保安庁の訓練に当院医師、看護師が参加いたしました。
今後とも三重県災害拠点病院としての役割を果たすべく、努力してまいります。

県立総合医療センターの基本理念・基本方針

基本理念

- 1 救命救急、高度、特殊医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
- 2 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

基本方針

- 1 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
- 2 県の基幹病院として医療水準の向上に努めるとともに、医療人材の育成に貢献します。
- 3 県内医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
- 4 職場環境を改善し、職員のモチベーション向上に努めます。
- 5 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

もくじ

県立総合医療センターの基本理念・基本方針……………1	「検査と健康展」に参加して……………5
第12回 がん市民公開講座	骨密度測定をはじめました……………5
「がん治療と社会生活の両立」を開催いたします…2	生活習慣病教室のお知らせ……………6
クリスマスコンサートのお知らせ……………2	外来診療医師担当表……………7
ハイ！ドクター ちょっと、おしえ～て！	外来 休診・代診のお知らせ……………8
不整脈について……………3	交通のご案内……………8
かぜ(感冒)に抗菌薬はいりません！……………4	

第12回 がん市民公開講座 「がん治療と社会生活の両立」を開催いたします

日時：平成30年12月8日（土） 13:30～15:30（開場：13:00）

場所：三重県立総合医療センター 7階 講堂 ※防災センター（時間外入退院出入口）よりご入場ください。

演題：「からだに優しい放射線治療」

講師：佐貴 直子 放射線治療科部長

演題：「患者さんのアピアランスケア～ちょっと心が軽くなる外見ケアのお話～」

講師：野澤 桂子 国立がん研究センター中央病院 アピアランス支援センター長



対象：どなたでもご参加いただけます。
（医療関係者の方から、一般の方まで、
広くご参考にしていただける内容です。）

定員：80名（入場無料、事前申込不要）

お問い合わせ先：経営企画課



♪クリスマスコンサートのお知らせ♪

日時：平成30年12月15日（土） 13:30～14:30（開場：13:00）

場所：三重県立総合医療センター 1階エントランス

※防災センター（時間外入退院出入口）よりご入場ください。
入場無料、事前予約不要です。

当院の医師や看護師、薬剤師、作業療法士などで構成する「GMCアンサンブル」による演奏のほか、バルーンアートのパフォーマンスを実施します。

仕事の合間をぬって練習を積み重ねてきた音色と、普段の仕事での顔とは違った顔をお楽しみください。

お問い合わせ先：地域連携課



ハイ! ドクター ちょっと、おしえ〜て!!



不整脈について

循環器内科 藤田 聡

一口に不整脈といっても、脈が速くなるタイプの^{ひんみやくせいふせいみやく}頻脈性不整脈と、遅くなるタイプの^{じよみやくせいふせいみやく}徐脈性不整脈があり、さらにそれぞれに様々な不整脈がありますが、すべてが危険なものではありません。しかし、めまいや息切れなどの症状が強く、日常生活に支障をきたすもの、また、突然死や心不全の原因となる恐ろしい不整脈もあります。

なかでも、加齢とともに増えるのが心房細動という不整脈です。わが国では70歳以上の2%、80歳以上の3%に見られるといわれていますが、欧米では80歳以上の10%が心房細動との報告もあります。

近頃、高齢者で心房細動の発作を繰り返したり持続したりすることにより脳梗塞(脳塞栓)を発症される方が増えてくるということが注目され、一般メディアでも取り上げられておりますので、すでにご存じの方も多いのではないかと思います。心房がけいれん状態となるため心房内で血液が溜まることにより心房内に血栓が生じやすくなります。この血栓が心房壁からはがれて血流に乗って脳血管まで運ばれた結果、脳の血管を閉塞し脳塞栓が生じます。

この他に心房細動の患者で問題となるのが心不全です。心房が有効に収縮しないため、心房から心室へ十分に血液が送れなくなったり、心房細動に伴う頻脈が続いた結果、心室のポンプ機能が低下したりすることによって、最終的に心不全に至ることもあります。とくに高齢者ではもともと左心室の拡張機能(心室が広がって血液を心室内に引き込む能力)に障害がある場合が多く、こうした人が心房細動になると、左心室に十分な血液を貯められなくなって心機能が急激に低下して心不全を起こすこともよくあります。

実際に、京都の伏見地区を対象とした心房細動患者の大規模登録研究の調査結果では、心不全の患者が1/4以上を占めており、うち心不全で入院治療を受けたことのある患者が16.8%、何らかの心不全症状を有される患者が15.9%に上っています。

心房細動の主な自覚症状は、動悸、息切れなどですが、心房細動が慢性的に続いていると症状がわからなくなることもあります。また、症状があっても、高齢者は「年のせい」と我慢をされがちですが、放置しておく、急に心不全を起こしたり、心原性脳梗塞を発症したりすることにつながり、健やかな老後が送れなくなるため、早期発見・治療が重要です。

治療としては、抗不整脈薬や抗凝固薬などの薬を服用する薬物療法のほか、カテーテル・アブレーションという治療も最近よく行われており、効果を上げています。

カテーテル・アブレーションとは

カテーテル・アブレーションとは、不整脈を引き起こす原因となっている異常な電気信号の発生個所にカテーテルを使用して焼灼を行い、正常なリズムに戻す治療です。

かぜ(感冒)に抗菌薬はいりません!



「かぜをひいたらお医者さんに行って抗菌薬をもらおう」

そんなふうに思っていないですか?でも、本当は、抗菌薬は細菌に効く薬で、ほとんどの「かぜ」の原因であるウイルスには効きません。

「症状が治まったから、処方された抗菌薬を飲みきらずにとっておこう」

こんな経験ありませんか?治ったと思っても体にはまだ菌が残っている場合があります。抗菌薬に対して抵抗力のない菌はすぐにはなくなります。抵抗力のある菌はなかなかなりません。この状態で繰り返すと、抗菌薬に対して抵抗力のある菌が増殖し、同じ抗菌薬を飲んででも効きにくくなってしまいます。

「抗菌薬の薬剤耐性ってなに?」

抗菌薬は現代の医療において重要な役割を果たしており、感染症の治癒、患者さんの予後の改善に大きく寄与してきました。その一方で抗菌薬の使用量が増大していくにつれて、その薬剤の効かなくなる細菌(耐性菌といいます。)が発生するという「薬剤耐性」の問題をもたらしてきました。この問題に対して有効な対策が講じられなければ、2050年には全世界で年間1000万人が薬剤耐性菌により死亡することが推定されています。2013年のがんによる死亡者数は全世界で年間820万人ですから、この「薬剤耐性」は近い将来大きな脅威となりうる問題として世界的に危惧されています。

本年2月初旬、診療所に勤務する医師を対象にした「かぜに対する抗菌薬の処方の現状について」のアンケート調査が行われました。集計対象は269通で、「かぜと診断された患者や家族の4割以上が抗菌薬を希望する」と回答した医師が、約3割にのぼり、その対応としては「説明しても納得しなければ処方する」が50.4%、「説明して処方しない」が32.9%、「希望通りに処方する」が12.7%という結果でした。

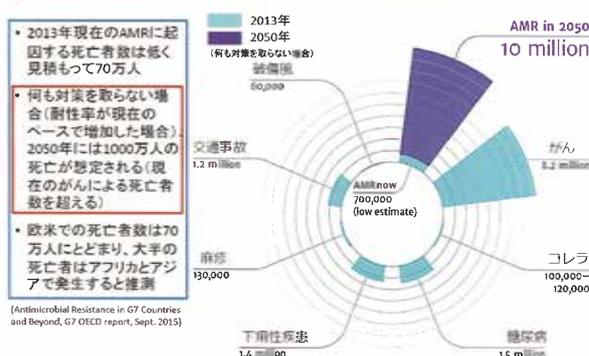
「薬剤耐性を防ぐにはどうしたらいいの?」

「耐性菌」が生まれないように、抗菌薬は「適切な薬剤」を「必要な場合に限り」「適切な量と期間」使用することが大切です。抗菌薬を使うかどうかの判断は、診断を受けた医師の指示に従ってください。抗菌薬が処方された場合に、症状が治まったからといって途中で抗菌薬をやめてしまうことは「耐性」ができる大きな原因です。処方された抗菌薬は、きちんと最後まで飲みきるようにしてください。

また、不要な抗菌薬を服用することも体内の細菌がその抗菌薬への「耐性」を獲得する可能性を高めることとなります。人から抗菌薬を譲り受けたり残しておいた抗菌薬を飲んだりせず、かぜをひいたら抗菌薬ではなくゆっくり休養してください。

薬剤耐性(AMR)の問題は、今後の医療において大きな課題

薬剤耐性(AMR)に起因する死亡者数の推定



出典: Antimicrobial Resistance: Tackling a crisis for health and wealth of nations, the O'Neill Commission, UK, December 2014

(出典) 第1回薬剤耐性に関する検討調整会議 資料2-1 厚生労働省提出資料

「検査と健康展」に参加して

中央検査部 古川 明美

日本臨床検査技師会では毎年、各地区において「検査と健康展」を開催し、地域住民の皆様には検査や健康に関心を持っていただく機会を設けています。

今年も去る9月16日（日）に近鉄百貨店四日市店において「検査と健康展2018 四日市」が開催され、当院の中央検査部もスタッフとして参加しました。

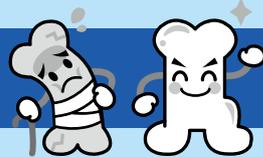
今回の健康展では各機器メーカーの協力のもと、血管年齢測定、頸動脈超音波検査、血圧測定、簡易ヘモグロビン検査、骨密度測定、検査結果説明、医師健康相談を実施させていただきました。当日は幅広い年齢層の方にたくさんお越しいただき、検査を受けていただきました。検査を通じて、改めて健康であることの喜びを感じていただけたのではないかと思います。

私ども臨床検査技師も、このような機会を得て、地域の方々に臨床検査のことを知っていただき、検査の大切さをご理解いただけたと実感しております。

また今後も院内におきましても、検査という仕事に真摯に向き合い、正確で迅速な検査結果の提供を通じて皆様の健康づくりに貢献していきたいと思っております。



骨密度測定をはじめました。



当院では、今年度から超音波骨量測定装置を用いた骨密度測定を実施させていただいております。

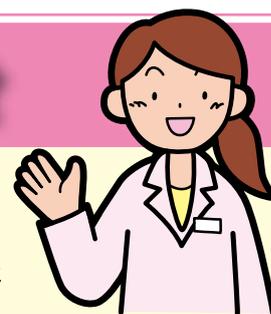
骨密度測定では、骨の中にカルシウムなどのミネラルがどの程度あるかを測定し、骨粗しょう症の予防（スクリーニング検査）と骨粗しょう症の治療の経過観察を行っています。

測定は、片足をはだしにして、測定装置に足を乗せるだけです。特に体への負担もなく時間も数分で済みます。

検査結果では骨年齢表示と同性の同年齢との比較などもわかります。骨粗しょう症などが心配な方は主治医までご相談ください。



生活習慣病教室のお知らせ



当院では定期的に患者のみなさまや地域住民の方々を対象に『生活習慣病教室』を開催しています。

7月は『大腸癌と生活習慣』をテーマに開催し、院内外から多くの方にご参加をいただきました。

講師は外科の尾嶋医師・仁村薬剤師で、前半は、主に大腸癌発生の原因や大腸癌によるリスク、予防方法をお話しました。

また、後半は大腸癌の一般的な治療方法や、最新の治療に至るまで、具体的に映像をご覧いただきながら専門医師による講義を行い、参加者からは「わかりやすかった」と好評でした。講義後には積極的な質問や意見も飛び交い、みなさまの関心の高さを感じました。これを機会に今後の生活習慣を見直すきっかけにしていただければ幸いです。

事前申し込みや参加費用は不要です！！
お気軽にご参加ください

夏休み・特別企画！「こども・ニキビ予防教室」を開催しました

8月10日に中学生およびその保護者の方を対象に「ニキビ予防教室」を開催しました。

皮膚科の加古医師、皮膚排泄ケア認定看護師の林看護師からニキビについてやお肌のお手入れについてお話ししました。ワイワイ・ガヤガヤ賑やかになるんだろうと予想しておりましたが、皆さんおしゃべりすることなく真剣に先生のお話を聞いていただきました。白衣姿の講義で緊張したのでしょうか。

講義の後は屋上にある「ヘリポート見学」を実施。たくさん写真を撮ったりして楽しそうでした♪初めての試みで、講師たちもドキドキ・ワクワクしていたようです。

当院では今後も地域の方々との交流を大切にしていきたいと考えています。



～ 今後の生活習慣病教室の開催予定 ～

11月 15日(木) 14時～ ～動脈硬化のお話し～
循環器内科医師・栄養士のお話しを予定しています。

日程	タイトル	講義担当者
11月15日(木)	動脈硬化	循環器科医師／栄養士
1月24日(木)	糖尿病	消化器科医師／薬剤師
3月14日(木)	ロコモティブシンドローム	整形外科医師／理学療法士

時間：14時～15時15分
場所：県立総合医療センター
7階講堂

生活習慣病教室運営委員会／お問い合わせ窓口：かけはし（地域連携課）

外来診療医師担当表

平成30年10月24日現在

		月	火	水	木	金				
総合内科	初診	担当医	中澤	林	伊藤	後藤				
	初診・再診	白木	水谷		鶴賀(午後)	森谷				
消化器内科	初診	大矢	井上	白木/山中	森谷	菅/西浦				
消化器内科	再診	井上	森谷	西浦	山中	大矢				
消化器内科	再診			菅	白木					
循環器内科	初診	動脈硬化・血管外来 牧野	角田	増田	中嶋	牧野				
循環器内科	再診	中嶋(午後)		角田	牧野	ペースメーカー外来 角田				
循環器内科	再診	加藤				増田				
※消化器内科金曜日(3診)は管が第1・3・5週目、西浦が第2・4週目診察 ※循環器内科金曜日のペースメーカー外来は第2週目と第4週目のみ										
呼吸器センター	初診	吉田(紹介診)	笹邊	藤原	寺島	児玉				
	再診	鶴賀		児玉	鶴賀(午後)	藤原				
	再診	寺島		笹邊	吉田					
※呼吸器内科月曜日(1診)吉田は紹介状										
消化器・一般外科	1診	毛利靖彦	1診(午前)	担当医(毛利靖彦)	1診	尾嶋	1診	毛利靖彦	1診(午前)	担当医
	2診	尾嶋	2診	大竹(小児外科)	2診(午前)	川村	2診	今岡		
	3診	伊藤			2診(午後)	橋本				
乳腺外科	がんサポーター室	渡部(緩和外来)			3診	渡部	がんサポーター室	渡部(緩和外来)		
乳腺外科	予約診	乳腺外来(山下)	3診	山下			3診	山下	予約診	乳腺外来(山下)
心血管外科/呼吸器外科	1診	庄村	1診	新保	1診	近藤			1診	澤田
			2診	鈴木						
脳神経外科	1診	青木	1診	山本	1診	田代	予約診	担当医	1診	梅田
	2診	亀井	2診	山道					2診	亀井
脳神経内科	初診(午前のみ)	鈴木	予約診	鈴木	初診	担当医	初診/予約診	鈴木	予約診	古田
			初診	古田	紹介予約制	ものわすれ外来(交代制)		掃部	初診	加藤
※水曜日は第1週・第2週・第3週のみ、第4週・第5週は完全休診 ※木曜日は鈴木(1診) 予約診が第1・第3週目、初診が第2・第4週目診察、掃部(2診) 初診が第1・第3週目、予約診が第2・第4週目診察										
小児科	1診	杉山	1診	西森	予約	太田	1診	太田	1診	杉山
	2診	山口	2診	小林	予約	杉山	2診	西森	2診	櫻井
	3診	小林	3診	太田	予約	大森	3診	大森	3診	山口
	4診	櫻井	予約	山口	時間外/紹介	小林/山口/櫻井/西森			4診	小林
産婦人科	1診(初診)	中野	1診(初診)	田中~10:30 井澤10:30~	1診(初診)	秋山	1診	朝倉	1診(初診)	脇坂
	1診(午後)	母体胎児診断								
	2診(初診)	担当医(9:30~14:00)	2診(午前) 2診(午後)	中野 脇坂	2診	谷口	2診(初診) 午後 2診(午後)	小田 1ヶ月検診 小田	2診	井澤
	3診	井澤	3診	朝倉	3診	田中	3診	たんぼぼ(助産師)外来	3診	朝倉
	4診	たんぼぼ(助産師)外来	4診	秋山	4診(午前) 4診(午後)	小田	4診	リンパ浮腫ケア外来	4診(午前) 4診(午後)	担当医
整形外科	1診(午前)	北尾(紹介、膝、肩)	1診(午前)	北尾(膝関節外来(再診))			1診(午前)	奥山(再診)	1診(午前)	奥山(紹介、初診)
	1診(午後)		1診(午後)	北尾(再診)			1診(午後)			
	2診(午前)	柿本(紹介、初診)	2診(午前)	服部徹也(紹介、初診)			2診(午前)	矢田(紹介、初診)		
	2診(午後)		2診(午後)	柿本(再診)			2診(午後)	矢田(再診)		
	3診(午前)	矢田(再診)	3診(午前)	柿本(再診)			3診(午前)	服部徹也(再診)	3診(午前)	服部佳生(再診)
	3診(午後)		3診(午後)	服部佳生(再診)			3診(午後)	服部徹也(再診)		
皮膚科	1診	市川	1診	加古	1診	加古	1診	益川	1診	加古
			午後	褥瘡回診	午後	手術				
泌尿器科	1診	荒瀬	予約診	堀(男性外来)	1診	景山	1診	栃木	1診	松浦
	予約診	松浦			予約診	荒瀬	予約診	松浦	予約診	荒瀬
					3診	松浦	3診	荒瀬		
眼科	1診	佐宗	1診	佐宗(再診)	1診	佐宗	1診	佐宗	1診	佐宗
耳鼻いんこう科	1診	鈴村	1診	鈴村	1診	鈴村	1診	鈴村	1診	鈴村
精神科	1診	山下	1診	山下	1診	山下	1診	山下	1診	山下
放射線科	1診	佐貴	1診	佐貴	1診	佐貴	1診	佐貴	1診	佐貴

※都合により変更することがありますので、最新の担当表はホームページかお電話にてご確認ください。

外来 休診・代診のお知らせ

■休診

※ は完全休診

月	日	曜日	診療科	医師	備考
10	24	水	脳神経内科		完全休診
10	24	水	産婦人科	4診 小田医師	
10	25	木	小児科	1診 太田医師	
10	25	木	整形外科	3診 服部徹也医師	リハビリ代診午前のみ
10	26	金	脳神経外科	2診 亀井医師	
10	31	水	脳神経内科		完全休診
11	1	木	整形外科	1診 奥山医師	
11	1	木	循環器内科	初診 中嶋医師	
11	2	金	消化器内科	再診 大矢医師	
11	6	火	産婦人科	4診 秋山医師	午前のみ
11	6	火	放射線治療科	1診 佐貴医師	
11	9	金	産婦人科	谷口医師	
11	9	金	産婦人科	2診 井澤医師	
11	13	火	小児科	心臓外来	10/30へ変更
11	13	火	産婦人科	4診 秋山医師	
			乳腺外科	乳腺外来	11/15～11/22
11	19	月	脳神経外科	2診 亀井医師	
11	19	月	心臓血管外科・呼吸器外科		完全休診
11	19	月	整形外科	3診 矢田医師	
11	20	火	放射線治療科	1診 佐貴医師	
11	21	水	産婦人科	3診 田中医師	
11	22	木	循環器内科	再診 牧野医師	
11	22	木	乳腺外科	山下医師	午前のみ休診
11	27	火	産婦人科	2診 脇坂医師	
11	29	木	リンパ浮腫外来	4診	
12	6	木		緩和外来	
12	11	火	放射線治療科	1診 佐貴医師	
12	13	木	乳腺外科	山下医師	
12	19	水	産婦人科	3診 田中医師	
12	25	火	放射線治療科	1診 佐貴医師	
1	24	木	乳腺外科	山下医師	
1	31	木	眼科	1診 佐宗医師	
2	1	金	眼科	1診 佐宗医師	
2	21	木	乳腺外科	山下医師	

■代診

月	日	曜日	診療科	医師	備考
10	24	水	泌尿器科	3診 浦松医師→荒瀬医師	
11	1	木	皮膚科	1診 益川医師→加古医師	
11	2	金	整形外科	1診 奥山医師→代診医師	紹介予約休診
11	15	木	整形外科	2診 矢田医師→代診医師	紹介予約休診
11	29	木	消化器・一般外科	1診 毛利靖彦医師→代診医師	
11	30	金	産婦人科	1診 脇坂医師→代診医師	

※平成30年10月24日現在の情報です。

最新情報は当院ホームページを確認いただくか、メール、お電話等で直接お問い合わせください。



三重交通バス

近鉄四日市駅より
約25分
近鉄塩浜駅より
約20分

四日市あすなろ鉄道

泊駅より
徒歩15分

